

すまいの部会の報告 (平成 27 年 3 月～6 月)

部会開催 平成 27 年 4 月 2 日、5 月 7 日、6 月 2 日

1. DVD の活用状況(平成 27 年 3 月～6 月)

	相談時利用	研修等利用	個人・団体貸出	複製
障がい福祉課	0	0	1	0
春日苑	0	0	0	0
しゃきょう	0	0	0	0
かすがい	2	0	0	0
JHN まある	1	0	3	0
あっとわん	0	0	0	0
中部大学 向研究室	0	1	0	0
合計	3	1	4	0

- 【感想等】
- ・障がいを持っている人たちの暮らしが分かって安心した。
 - ・今までどうなっているか分からなかった施設の内部が分かった。
 - ・いろいろな形のサービスがある。
 - ・本人が使いそうなサービスが分かった。

2. 新年度の部会について

- ①開催頻度 4 月より月例開催とすることを確認した。
- ②新年度の部会員の構成
昨年度のメンバーに加えて精神障がいの当事者団体より 1 名加わることを確認した。

3. 今年度の取り組みについて

①DVD の活用について

啓発用資材として DVD を作成したので、相談者への情報提供、当事者団体の研修等必要に応じて活用することは従来通り継続する。また、そのほかの活用方法についても検討する。

②すまい方に関する事例収集について

事例収集の目的

- ・一人暮らし等、親亡き後にどう暮らしていくかを考えることにつなげたい。
- ・暮らし方の形態とその過程を知る（借家、持ち家だけでなく、シェアハウス、グループホーム等）

- ・不動産関係など住居取得などで理解をしてもらう事が求められる人たちとの意見交換や研修などに活用していく。

事例収集の方法

- ・事例は相談支援事業所（委託・特定事業所）や精神科等の病院のソーシャルワーカー（地域移行）に提供してもらう等して収集する。

③意見交換・研修の検討と実施

- ・事例やDVDを活用し不動産関係者、UR、ニュータウン創生課、住宅施設課（市営住宅）、商工会議所と意見交換を行う。
- ・その上で、オブザーバーとして部会参加を依頼する。
- ・不動産関係やニュータウン等の市役所の住居関係の担当者と連携できるかを視野に入れながら、どのような研修にするか検討していく。